

みんな
の

な か ま だ よ り



おもいやりと熱意をもって日々、行動！



第7号

令和7年7月発行

発行人：かまだ政人後援会
ひたちなか市市毛 845-4
(日立ハイテク労働組合那珂支部内)

【かまだ 政人 連絡先】
携帯 070 (9116) 3757
mail masato.kamada.wj@icloud.com



日頃のご支援に感謝申し上げます。

本市では、少子高齢化や地域経済の活性化、防災・子育て・教育環境の充実など、多くの課題と向き合いながら、未来を見据えたまちづくりが求められています。私は、皆さまの声を市政に届け、暮らしの安心と希望をつくる役割を全うしてまいります。そして、一人でも多くの方が「自分ごと」として市政に関心を持っていただけるよう、丁寧に、言葉を届けてまいります。引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

かまだ 政人

議 会 報 告

令和7年 第2回 6月定例会

審議案件

令和7年第2回6月定例会は6月11日(水)から25日(水)までの15日間の会期で開かれました。定例会では28件の報告及び議案等に対する審議を行ない、いずれも提案の通り承認・同意、及び可決しました。

報告事項:21件

- ・令和7年度公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社及び、ひたちなか海浜鉄道株式会社の事業計画及び予算について (2件)
- ・令和6年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道会計等の繰越額計算書の報告について (12件)
- ・専決処分の報告について (7件)



議案事項:7件

- ・令和7年度ひたちなか市一般会計補正予算<第1号>について
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・ひたちなか市営駐車場設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について
- ・田彦中学校給食備品購入売買契約の締結について
- ・ひたちなか市道路・公園証明灯一括更新管理事業(ESCO事業)契約の締結について
- ・公有水面埋立てに関する意見について (2件)

【質問項目】

1. 企業誘致について

- (1) 企業誘致とひたちなか地区の展望について
- (2) 工業団地の整備状況について
- (3) インフラ整備について
- (4) 企業誘致の取組について

2. ネーミングライツに関する取組について

- (1) 導入の検討状況について
- (2) 導入にあたっての課題について

3. レスパイトケアの推進について

- (1) レスパイトケアの現状について
- (2) 認知症のご家族を介護されている方への支援について
- (3) 情報提供と利用促進に向けた取組について

4. 再生可能エネルギーの推進について

- (1) 太陽光発電の導入実績について
- (2) 太陽光発電の普及に向けた課題と対応について



▲質問の様子

【質問・答弁内容(抜粋)】

1. 企業誘致について

質問 ひたちなか地区は、港湾や交通網、産業団地などの強みを活かし、企業誘致に適した環境が整っている。こうした取組は、雇用創出や地域経済の活性化、財政基盤の強化にもつながると考える。また、防災や観光といった多面的な価値も持つことから、今後のまちづくりにおいて重要な役割を担う地域である。そこで、企業誘致とひたちなか地区の今後の展望について、市長のご所見を伺う。

答弁 ひたちなか地区は、かつて米軍射爆場だった土地が返還され、現在では県・市・東海村が連携し、4つのゾーンに分けたまちづくりが進められている。レクリエーションゾーンでは、国営ひたち海浜公園を活かした観光と防災機能の強化、都市ゾーンでは商業施設の集積による賑わい、産業ゾーンでは常陸那珂港と連携した企業誘致と中小企業の進出が進展中。また、市独自にスポーツ施設や交通対策なども進め、少子高齢化に対応した4つの重点プロジェクトにより、人口15万人の維持を目指している。ひたちなか地区の整備と企業誘致は、雇用や定住促進に直結し、本市の将来を支える重要な取組として、今後も持続的に推進していく。

2. 企業誘致について

質問 全国的に少子高齢化や財政難が進む中、公共施設の命名権を企業に売却する「ネーミングライツ」の導入が注目されている。古河市では20施設で年間約748万円の収入を得る成果もあり、本市でも総合運動公園や市営ホールなどでの活用が期待される。財源確保に加え、企業との連携や市民サービス向上にもつながる。そこで、本市におけるネーミングライツ導入に向けた、これまでの検討状況について伺う。

答弁 本市では、ネーミングライツは、安定的な財源確保の手段として有効であり、持続可能な施設運営に寄与する事業であると捉えている。そのため、導入に向けて、先行自治体の事例研究を行い、事業の進め方等について検討してきた。また、市内事業者の関心度把握のため、ひたちなか商工会議所の協力を得て、関心度調査を実施。11事業者から「関心がある」と回答をいただいた。これらを踏まえ、導入に向けた検討を始め、導入の目的や効果、対象施設などの基本的な考え方を整理し、ネーミングライツの円滑な導入と適正な運用を図る指針として、令和7年4月に、「ひたちなか市ネーミングライツに関するガイドライン」を策定した。今後、ガイドラインに基づき導入を図って行きたいと考えている。

3. レスパイトケアの推進について

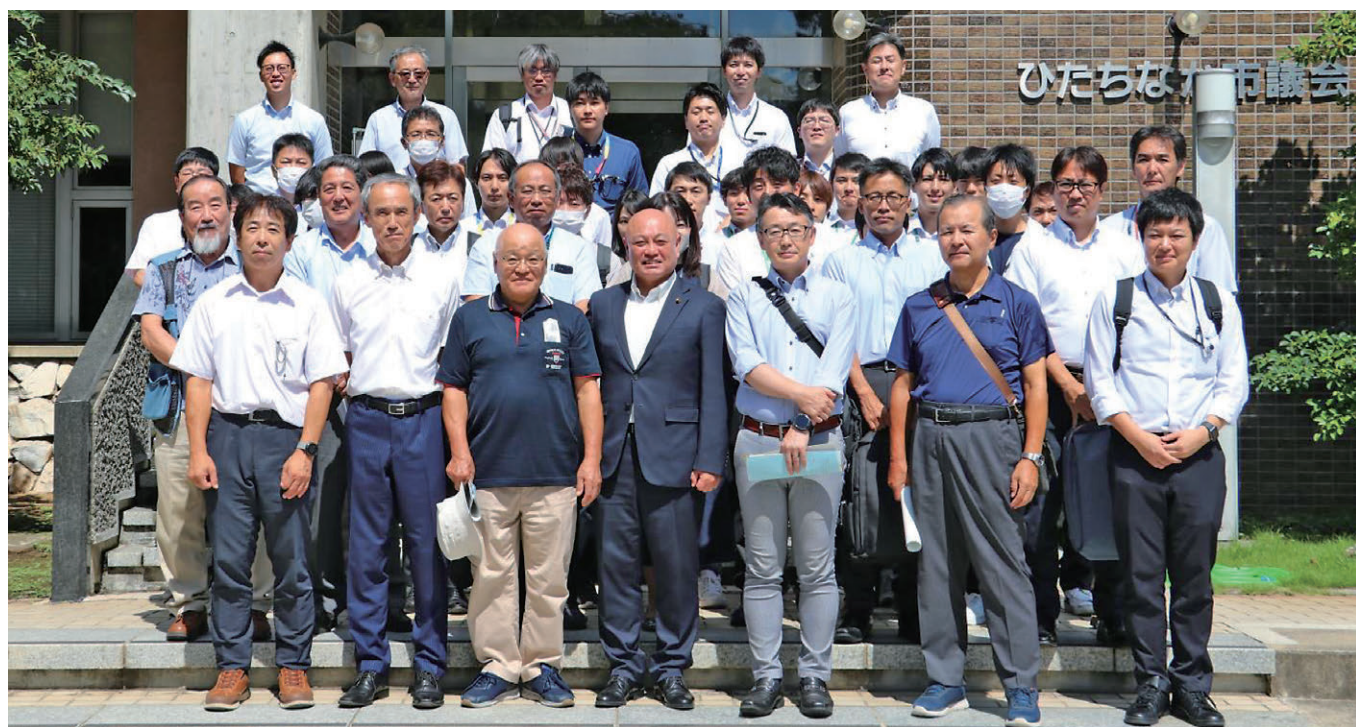
質問 認知症の在宅介護は長期化しやすく、介護者の負担や孤立が大きな課題である。ショートステイなどの「レスパイトケア」や、「認知症カフェ」「家族のつどい」といった地域とのつながりを支える取り組みは、介護継続の支えとなる。今後、在宅介護を支える支援体制の一層の充実が必要と考える。そこで、認知症介護家庭への現在の支援状況と、今後の取組について伺う。

答弁 ひたちなか市では、認知症の方やそのご家族への支援をこれまで以上に充実させている。毎月開催している「家族のつどい」や「本人のつどい」、市内10か所の「オレンジカフェ」などでは、悩みの共有や相談、交流の場が提供されている。徘徊対策として、GPS端末や「見守りシール」の配布も行っており、安心して暮らせる環境づくりを進めている。今年度は、地域住民やボランティアで構成される「チームオレンジ」と連携し、認知症の方の「やりたいこと」を一緒に実現する新たな取り組みもスタート。たとえば、ひたちなか海浜鉄道を使った外出レクリエーションなどを予定している。市では今後も、幅広い世代に向けて正しい情報発信と支援を行い、必要な方に必要な支援がしっかり届くよう取り組んでいく。

4. 再生可能エネルギーの推進について

質問 国のカーボンニュートラル目標を受け、本市も温室効果ガス排出ゼロを目指し、「再生可能エネルギービジョン」を策定した。中でも太陽光発電は、市の電力使用量の約91%を賄える可能性があり、現実的かつ効果的な取り組みとされている。今後の推進には、導入実績を把握し、導入可能量とのギャップを明確にすることが重要である。そこで、本市における太陽光発電の導入実績について伺う。

答弁 地球温暖化対策の指標として2050年カーボンニュートラルを目指していくことは、世界的な共通理解であり、本市においては、最適な再生可能エネルギーの種類等やその導入の方向性を示した「市再生可能エネルギービジョン」を策定したところ。この調査では、本市域における太陽光発電での総量は、令和4年度では平成26年度比で約2倍近くの9万7千254メガワットアワーの発電量となっており、市域に再生可能エネルギーが普及していると捉えている。市としては、引き続き再生可能エネルギーの普及促進を図っていく。



▲傍聴いただいた皆さまと一緒に

お忙しいところ、会場にて傍聴いただいた皆さま、また、生中継配信にてご視聴いただいた皆さま、ありがとうございました。



【4月】

2日(水):連合茨城議員懇談会第23回総会と政治フォーラム(水戸京成ホテル)
4日(金):朝の挨拶運動(マリンサイト) 5日(土):珂友会総会(労働会館)
8日(火):津田小学校入学式① 9日(水):勝田第二中学校入学式
12日(土):「茨城県議会議員 二川 ひでとし」後援会ボランティア活動

(ベニマル東大島店)

19日(土):連合茨城 常陸那珂地区協地域メーデー(ひたちなか市文化会館)
25日(金):朝の挨拶運動(ルネサス那珂支部正門)
26日(土):茨城県中央メーデー(茨城県三の丸庁舎広場)
27日(日):国民民主党茨城県連ポスティング大会(取手市)

【5月】

3日(土):国民民主党街宣活動(茨城5区)②

9日(金)、10日(土):「茨城県議会議員 二川 ひでとし」県政報告会
(前渡コミセン、津田コミセン)

11日(日):勝田第二中学校体育祭
17日(土):「茨城県議会議員 二川 ひでとし」県政報告会(那珂湊コミセン)
18日(日):津田小学校運動会
24日(土):国民民主党茨城県連ポスティング大会(守谷市)
31日(土):国民民主党茨城県連議員セミナー(ウェルネスプラザ取手)

【6月】

1日(日):第5回エネルギー政策研究セミナー(サンピア日立)
2日(月)、4日(水):ろうきん勝田支店教宣活動(門頭ビラ配布)(マリンサイト正門、南サイト正門)
7日(土):ルネサス老友会グランドゴルフ大会
8日(日):電機茨城地協政策フォーラム(日立シビックセンター)
11日(水)～25日(水):令和7年第2回6月定例会
14日(土):国民民主党茨城県連ポスティング大会(水戸市)
21日(土):国民民主党茨城県連ポスティング大会(牛久市)
30日(月):第2回かまだ政人後援会総会&市政報告会(マリンサイト)

①



▲会場入り口にて

②



▲磯原駅前にて

「平戸 航太」候補者の紹介

7月に施行予定の「第27回参議院選挙(全国比例区)」に「平戸 航太(新人:日立労組出身)」氏が立候補する予定です。私たち生活者、労働者の声を国政に届けるべく、必勝に向けたご支援をお願いいたします。



国民民主党/(電機連合)推薦/日立労組出身
【プロフィール】

- 氏名:平戸 航太
- 生年月日:1987年7月1日(38歳)
- 在 住:千葉県流山市
- 【略歴】
- 2012年:日立製作所 入社
粒子線治療装置の構造設計に携わる。
- 2024年:第50回衆議院選挙にて立候補するも次点

編集後記

毎年この時期になると、「暑いですね」が自然と挨拶の定型句になりますが、この“暑さ”も、時代とともに様変わりしています。気象庁によれば、今の日本の夏は、昭和の頃より平均気温で1～2℃ほど上がっているとのこと。皆さんは、ご存でしょうか。「夏バテ」とは、実は医学用語ではなく、江戸時代から使われてきた庶民の言葉だそうです。昔は「暑気あたり」とも呼ばれ、夏の疲れが秋口にどっと出てくるが多かったとか。現代ではエアコンの効いた室内と炎天下の屋外との“寒暖差バテ”が原因になることもあるようです。水分だけでなく、塩分やミネラルの補給もお忘れなく。暑さも本番を迎えますので、くれぐれも熱中症にはお気をつけてお過ごしください。

今後も市政や地域について、お気づきのことがあればぜひお声をおかけください。

(かまだ)